

第36回「映画を語る会」開催報告



一漸く秋らしくなった雨の午後、少し重たい韓国映画を鑑賞しましたー

1. 日時及び場所 2024. 10. 9. (水) 13:30—16:10 於・つくし野 C.C.ホール
2. 今月の映画 「1987、ある闘いの真実」 韓国 2017年 (129分)
3. 参加人数 40名 (男性 15名 女性 25名)
4. アンケート結果—映画について 15名回答
 - ① 大変良かった 7名 ② 良かった 7名 ③ 普通 (まあまあ) 1名
 - ④ つまらなかった 0名 ⑤ 来なければよかった 0名
5. アンケート結果—ご意見・ご感想 (一部)
 - ・ 韓国の軍事政権時代に行ったことを思い出します。韓国の映画らしく、はらはらする展開、家族の問題など良く出来た映画でした。
 - ・ 平和である事の大切さを改めて実感。孫・子の時代の地球が穏やかでありますように、心から祈りたいと思います。
 - ・ 35年余り前にお隣の韓国でこんな事があったのですね。厳しい話です。拷問はいけないと思います。あらすじがあってよかったです。ハニョル・ヨニがハッピーエンドで終わって欲しかった。
 - ・ ドキュメンタリー風で韓国の実情がよく分かった。北と南に分かれた国の状況は厳しいと感じました。日本の平和な日々と異なり隣の国の人々が経験とは大きく異なり心にしみる映画でした。
 - ・ 見ているうちに引き込まれていった。いい映画だった。
 - ・ 学生運動の死、色々と話題になりました。考えさせられます。
 - ・ 問題作よりも明るく笑える作品を希望します。チョッピーリヒューマンで。この映画は良い映画だとは思いますが・・・映像が美しいといやされます。
 - ・ あのような激しい拷問があったとは・・・。余り韓国に関心を持っていなかったので今回は色々知れてよかった。組織の恐ろしさ Yes man になってしまう不気味さ、レベル違いでも日本の政治の中の Yes man が怖いです。
6. 予定：11月13日(水)、12月10日(火)